



公明党 市川陽子 議員

防災・減災施策について

問 災害への思いを伺います。

答 副市長 停電が長期にわたり、東電にしっかりとした情報の提供と、経産省にも、東京電力等の復旧要員の増員を何度も申し上げました。今後、最初にやるべきことを検討します。

問 本庁舎が2日間停電となり、どのように対応されたのか伺います。

答 市長 本庁では非常用の自家用の発電機で、平時と同様の業務を実施し、出先機関は、自家発電機がないため、避難所の施設は、可搬式の発電機とバールンライトで対応しました。今回の災害を教訓とし、取り組んでいく覚悟です。

問 初動体制の危機管理の上では、システムの整備の早急な見直しが必要だと思いますが、どうですか。

答 総務部長 正確な情報を市民

にお伝えすることは、行政の重要な責務と認識しており、防災行政無線だけでは万全とは言えません。災害情報を多様な手段で伝達できるよう、来年度にシステムの導入を検討しています。

問 防災と福祉の連携による理解促進としての、避難行動要支援者の名簿について伺います。

答 保健福祉部長 令和2年1月から、要支援者名簿への登録予定者に対し、個人情報提供について意向確認を実施しました。年度内に要支援者名簿の更新を行う予定です。

問 災害用トイレの多くは健常者用です。オストメイトの方は、便意・尿意を感じられないため、突然トイレを必要とし、その処理時間もかかるため、専用トイレの備蓄をお願いしたいのですがどうですか。

答 総務部長 専用トイレは、松尾IT保健福祉センターに1カ所あります。大規模な災害の際、成東保健福祉センター、松尾IT保健福祉センター、蓮沼スポーツプラザ、さんぶの森中央会館を福祉避難所とし、優先的に避難を考えており、備蓄を検討します。

空き家対策について

問 空き家の判定状況を伺います。

答 都市整備課長 市内に681件あり、そのまま活用が可能なもの

が184件、小規模な修繕や敷地周辺の管理状況の改善が必要なものが226件、大規模な修繕や敷地周辺の改善が必要なものが188件、空き家の除却や敷地内の大幅な改善が必要なものが83件となります。

問 特定空き家について伺います。

答 都市整備課長 現在、特定空き家の認定は行っていませんが、今後、候補を選定し、令和2年に開催予定の空家等対策協議会に諮る予定です。

マイナンバーカードについて

問 今後、健康保険証としても使用可能になり、75歳以上の高齢者に対する保健事業と介護予防を市町村で一体的に実施する改正健康保険法も成立しましたが、今後の取り組みの方向性について伺います。

答 総務部長 10月にマイナンバーカード交付円滑化計画を策定しています。市民への周知・広報、交付スケジュールや交付体制など、推進体制の整備を進めていきます。



マイナンバーカード(表・見本)

福祉施策について

問 認知機能の低下が認められる

方について伺います。

答 保健福祉部長 本年9月末時点で、要介護認定者2,794人のうち、約60%の方に認知機能の低下が認められます。早期発見、早期対応の強化とともに、認知症ケアパスの発行も行っています。

問 高齢者の徘徊捜査見守りシールの導入状況について伺います。

答 保健福祉部長 各地域包括支援センターやケアマネジャーを通じて、希望者へシールの配布を開始しました。認知症への理解を深めるとともに、見守りシール事業の周知を図るため、山武警察署や東消防署、市見守りネットワーク協力事業者である市商工会、郵便局、訪問通所サービス事業所等へ、普及啓発に努めています。

問 健康マイレージの方向性を伺います。

答 保健福祉部長 各種検診の受診、健康教室など、保健事業への参加、歩数測定など、生活習慣の改善に取り組んだことに対し、付与することを考えており、来年度から関係各課、関係団体と協議を進めていきます。

問 市独自の健康づくりマップの作成について伺います。

答 保健福祉部長 市内のウォーキングマップも健康ポイント事業とあわせ検討します。